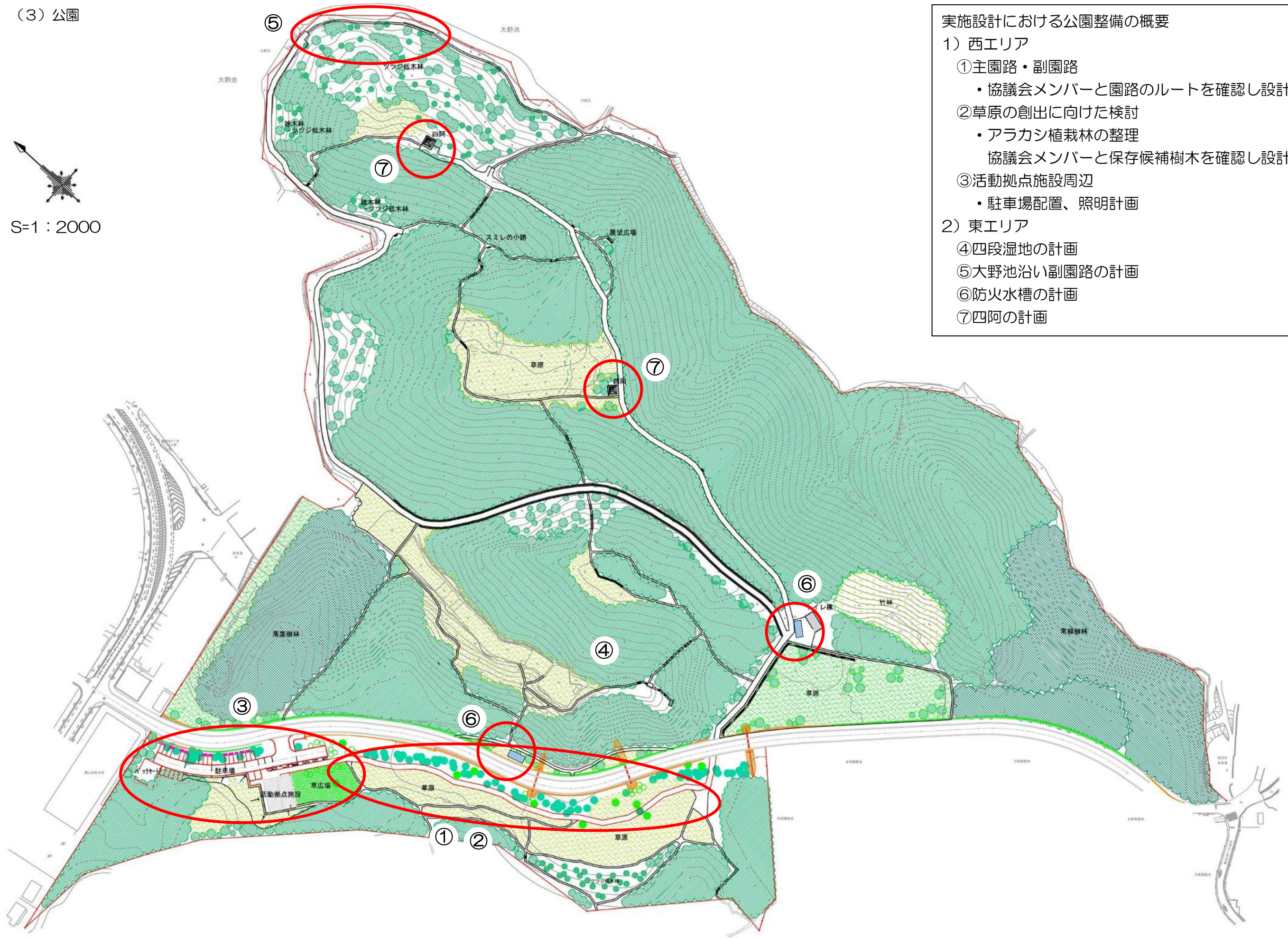


(3) 公園



S=1 : 2000



- 実施設計における公園整備の概要
- 1) 西エリア
 - ①主園路・副園路
 - ・協議会メンバーと園路のルートを確認し設計に反映
 - ②草原の創出に向けた検討
 - ・アラカシ植栽林の整理
 - ・協議会メンバーと保存候補樹木を確認し設計に反映
 - ③活動拠点施設周辺
 - ・駐車場配置、照明計画
 - 2) 東エリア
 - ④四段湿地の計画
 - ⑤大野池沿い副園路の計画
 - ⑥防火水槽の計画
 - ⑦四阿の計画

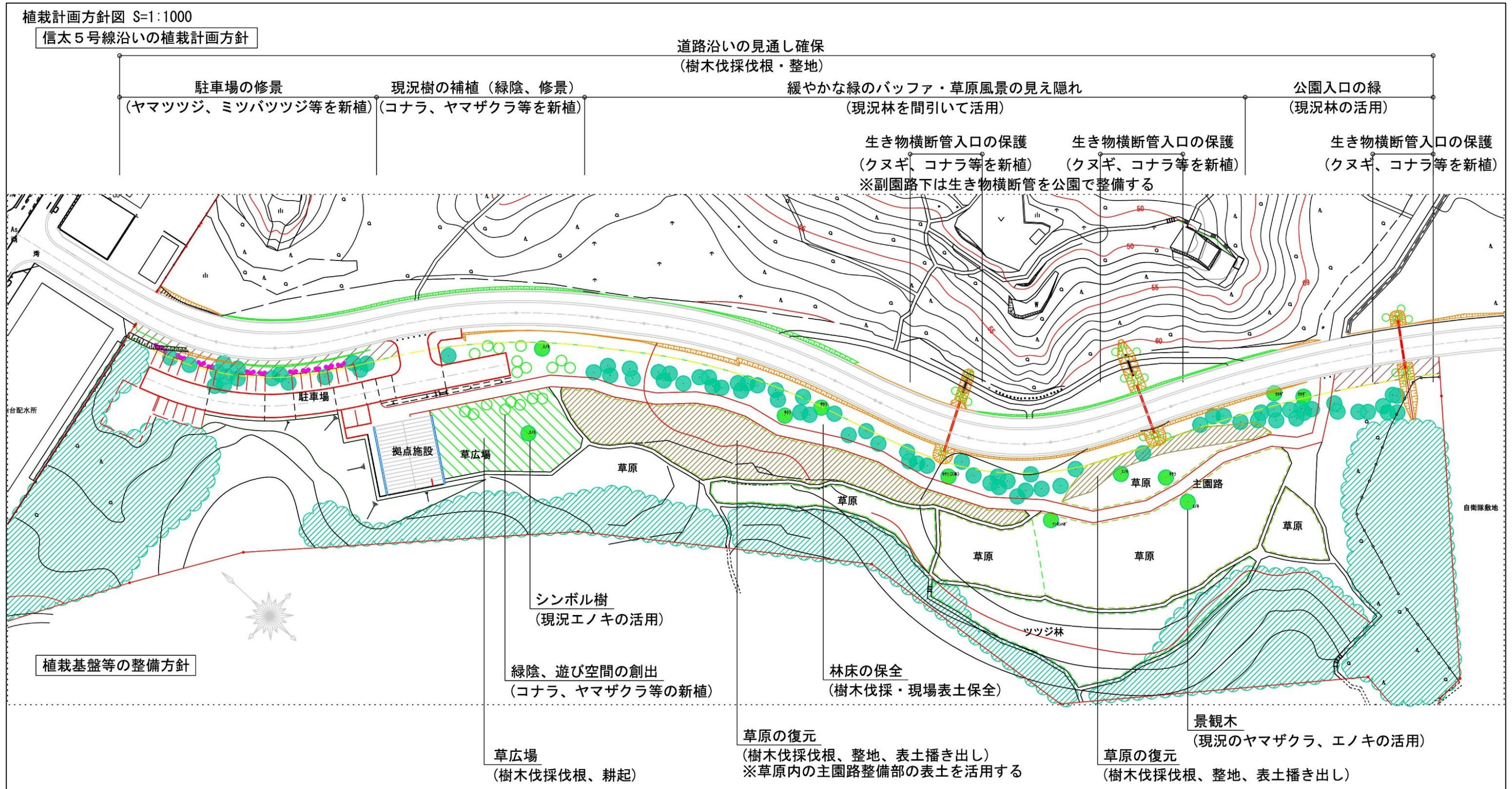
1) 西エリア

①主園路・副園路

- ・現地において、協議会メンバーと主園路のルートの確認と修正、保存する候補樹木の選定を行った。

②草原の創出に向けた検討

- ・信太5号線沿い5m幅は、ゴミ不法投棄の対策として現況樹木を伐採し、見通しを確保するものとする。
- ・現況のアラカシ林を間伐し、ゆるやかな疎林状の緑のバッファを創出する。
- ・草原の復元を目指すエリアについては、伐採、伐根を行い、腐葉土層を現況土に置き換える。



③活動拠点施設周辺

○駐車場計画

- 樹林間の駐車スペース（18台）
- 身障者用駐車スペース（2台）
- その他はバススペース及び車路縦列（10台）で対応する。

○照明計画

- 拠点施設付近にポール灯を、駐車場にガーデンライトを配置する。
（照度分布：約 1.0 ルクス）

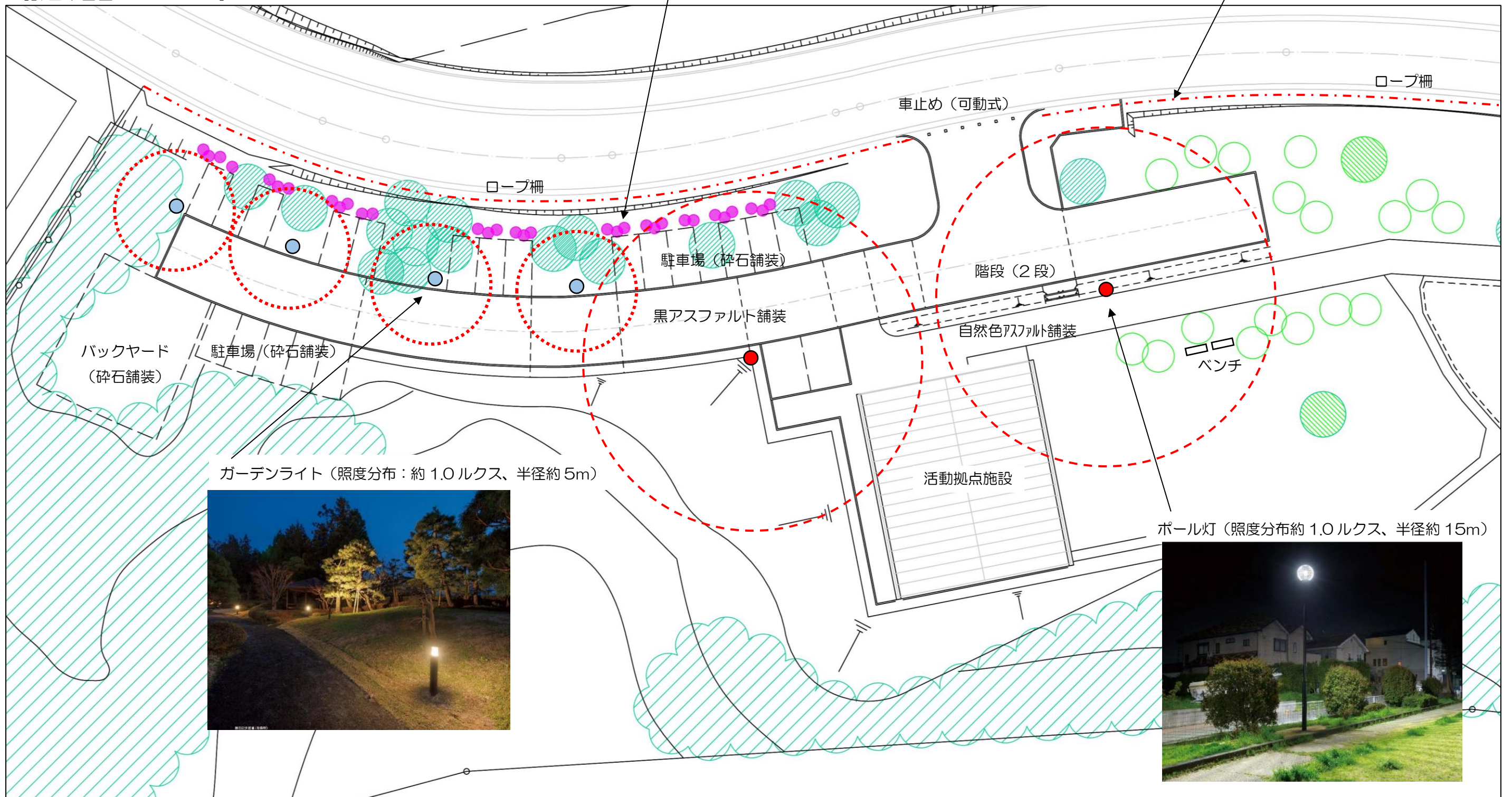
駐車場の修景植栽

- ヤマツツジ、ミツバツツジ等を数株ずつポイントで植栽し、駐車場の修景と季節感を演出する。

ロープ柵（h700 柱：擬木）



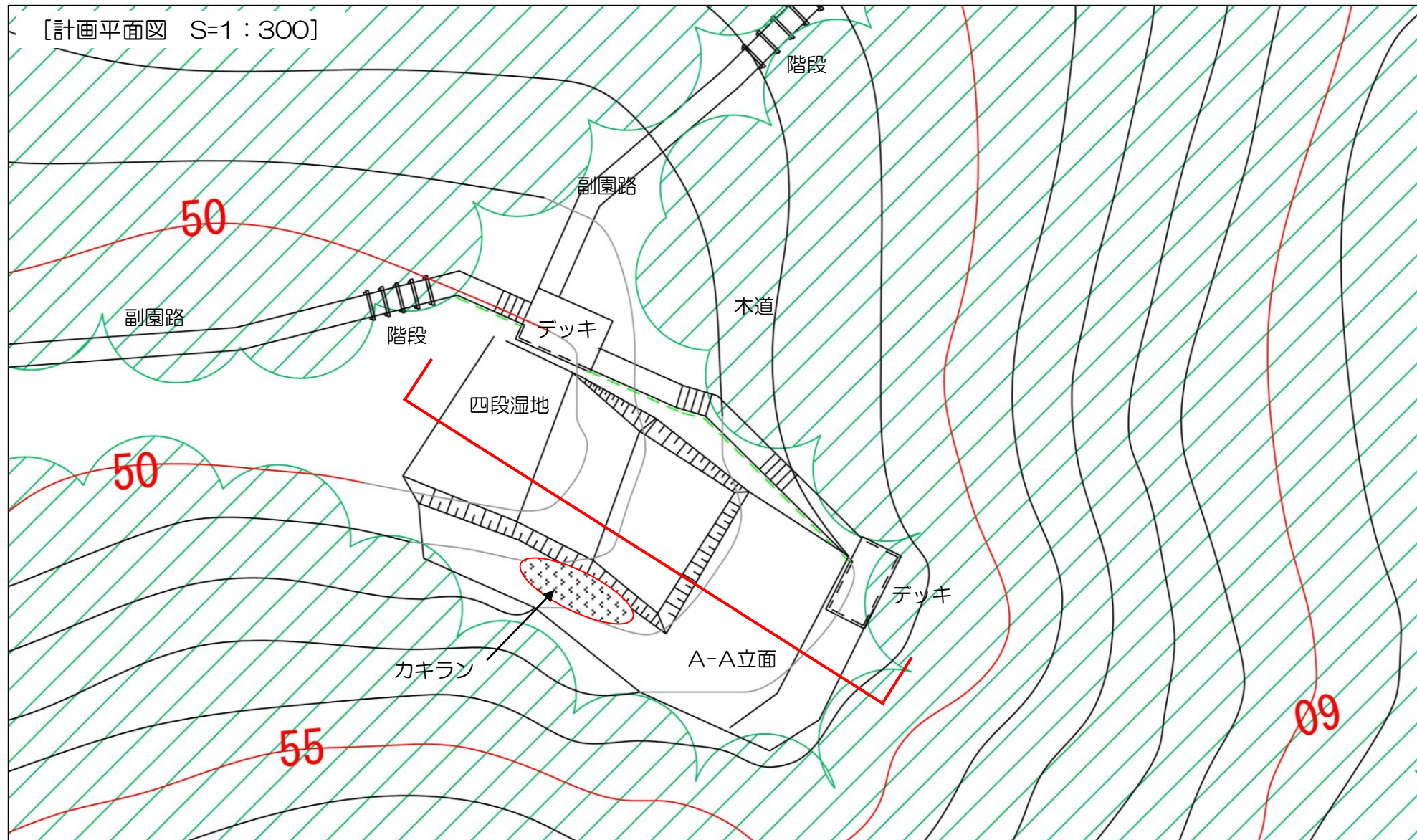
[計画平面図 S=1:350]



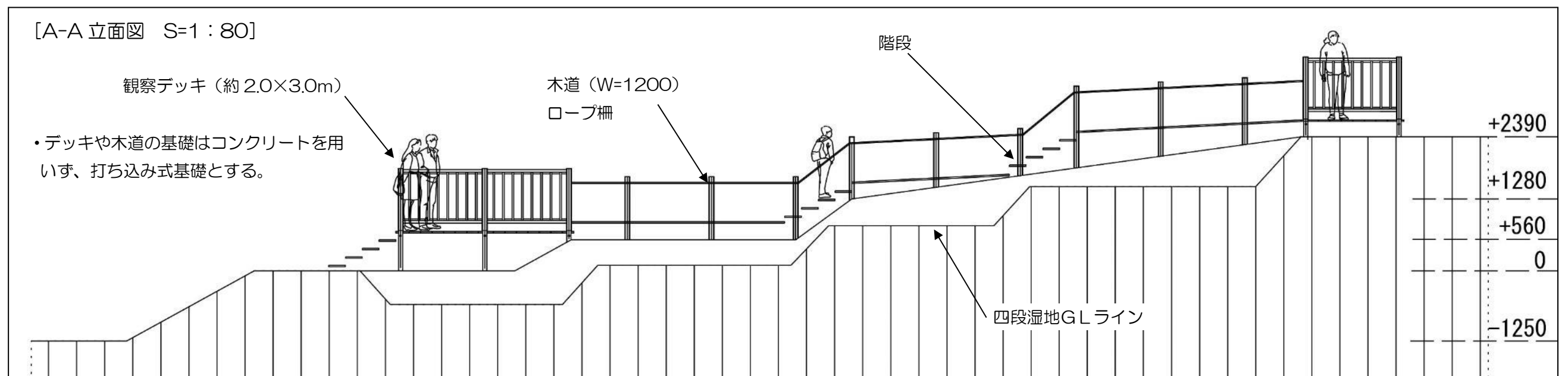
2) 東エリア

④四段湿地の計画

- 現地の地形、高低差の再調査を行った。
- 現地の高低差や湿地のぬかるみ状態、貴重植物（カキラン等）を考慮し、木道及び観察デッキを設置するものとする。



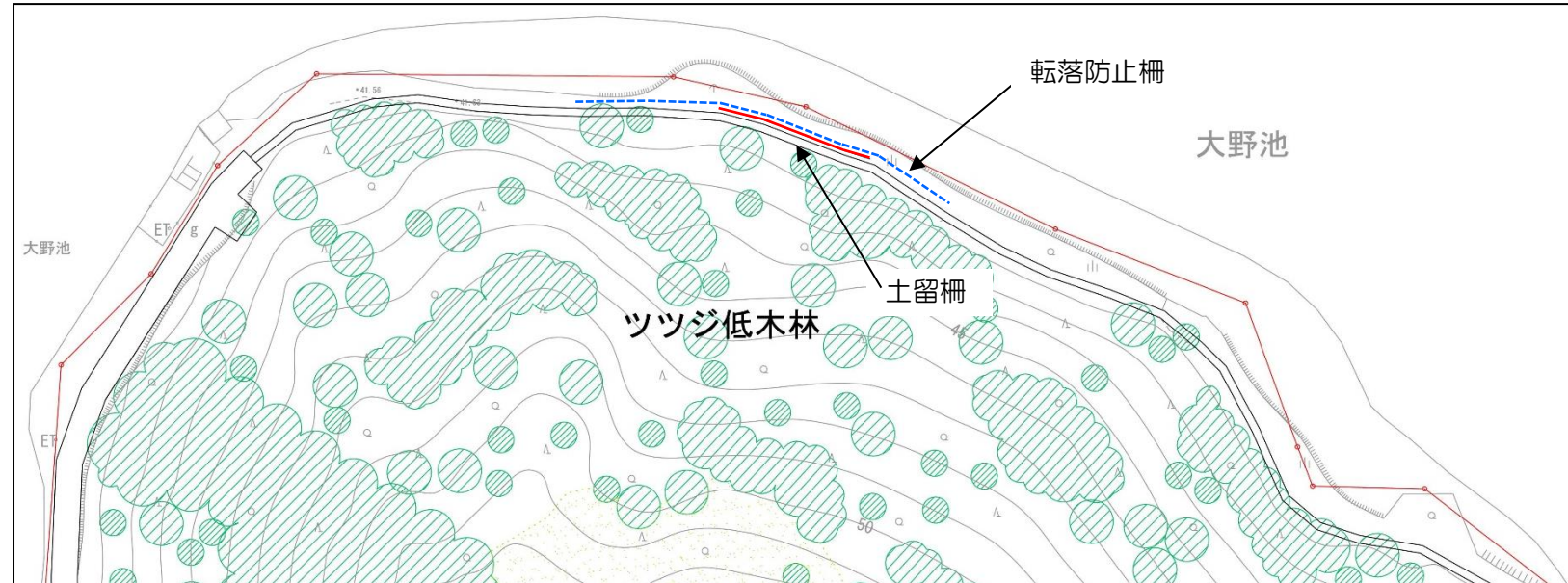
木道イメージ写真



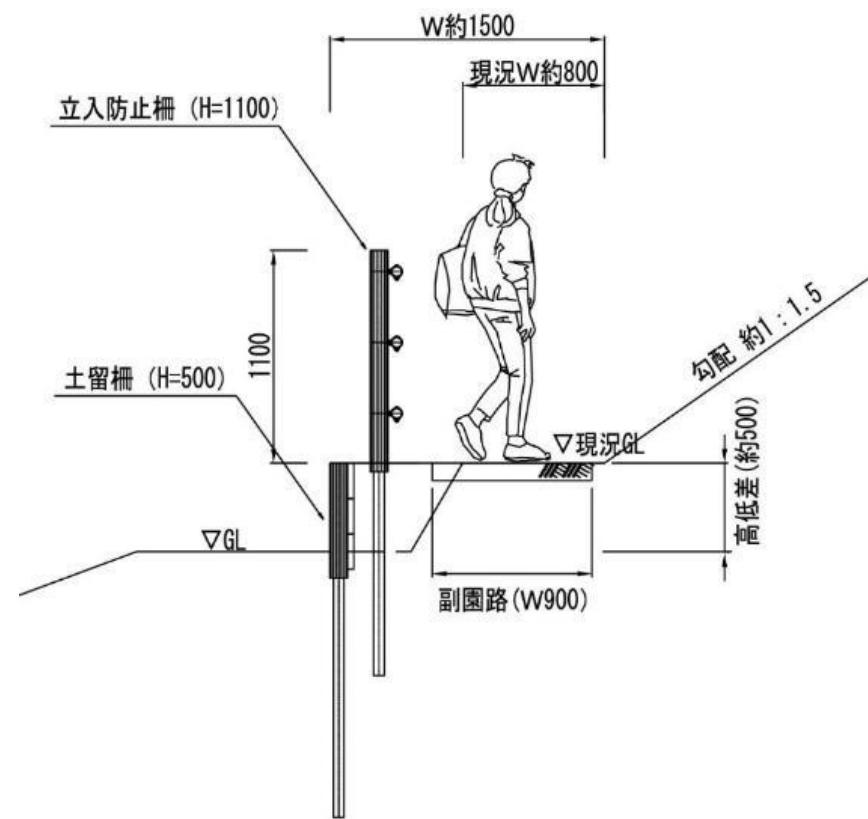
⑤大野池沿い副園路の計画

- 大野池沿いの現況山道において、一部路肩が崩れている区間を土留め柵などで補修する。
- 転落防止柵については、安全上必要最小限の区間に設置する。

[計画平面図 S=1:800]



[土留め柵設置区間断面図]



転落防止柵参考事例



⑥防火水槽 (40 t 7.2×3.4×H2.4m : 土被り 1.0m)

- 消防協議の結果、防火水槽を東エリアに2箇所設置する。
- 設置場所：トイレ棟前広場、急園田5号線跡敷地 (P8平面図参照)

⑦四阿 (4.5×4.5m)

- 東エリアに四阿を2箇所計画する。
- 四阿は木造の自然景観に配慮したものとする。
- 設置場所：P8平面図参照

四阿イメージ写真

